

2. 指標設定

成果指標	指標名	市民との情報の共有化	目標年度	—	指標の設定理由				
	数値	—			総合計画／後期基本計画において、7-1-1 情報を適切に管理し、共有化を進める				
活動指標	指標	a	広報事業	b	声のひろば事業	c		d	
	数値	目標	年12回発行	目標	全自治区にて開催	目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
市民との情報の共有化		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 広報事業	回	12 回	12 回	12 回
		100.0 %	100.0 %	100.0 %
b 声のひろば事業	回	88 回	25 回	9 回
		—	—	—
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
協働によるまちづくりを目指し、市民と情報の共有化を図らなければならない。CATVとの情報提供の連携を図り、情報の重複等为避免、効率性を高める。
対応（改善点等）
H26年度はホームページのリニューアルに取り組み、必要な情報を迅速かつ簡単に発信できるようにする。H27年4月1日稼働目標。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

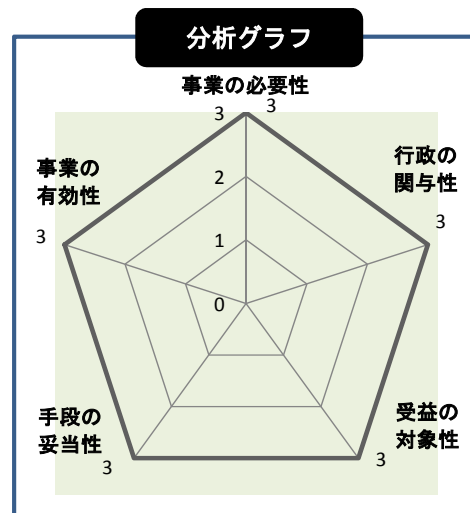
決算額（千円）	H23	H24	H25	H26	
	うち経常経費	11,900	10,992	10,914	16,818
財源内訳	国費				
	県費		666	665	666
	市債				
	その他	42	24	20	26
	一般財源	11,858	10,302	10,229	16,126
うち経常	11,858	10,302	10,229	16,126	
事業費に係る人件費	10,320	9,876	10,025	10,202	
事業費に係る人役	2.40	2.30	2.30	2.30	

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
H26年度は、ホームページリニューアル費用、市勢要覧作成費用等臨時的経費で若干の増額となるが、H27年度は再び減額し、それ以降は例年並みとなる予定。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 広く情報提供をするため。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 行政情報を取り扱うため。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 おおむね広く享受できていえる。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のため必要な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 本市が目指す協働のまちづくりの基本となる、情報の共有化の柱として、非常に有効である。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	広報誌のみならずHP及びCATVとの適切な連携等により効果的な情報発信を行い、市民の声を聞く機会の確保に努めること。